

助成事業

[ホーム](#) > 助成事業

[ホーム](#)

[財団について](#)

[助成事業](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ一覧](#)

2025年度（第6回）助成募集要項

趣旨

公益財団法人今井精一記念財団は、
女性特有の疾患や妊娠・出産・育児などでお悩みの方に、
女性や小児医学における研究に対する助成を通して、
女性と生まれてくる子供たちの健康を支援して行きます。

助成対象

周産期・新生児医学、婦人科腫瘍学、生殖医学、女性医学等における
独創的、先端的な研究

助成内容

助成金額
基準：1件150万円（単年度8件以上13件以内）

助成金交付の対象となる経費

研究に要する物品の購入費用その他研究推進に必要な費用とします。
（研究機関または研究室全体の間接経費・一般管理費は認めません。）

応募資格

助成対象の研究を行い、推薦者(※)より推薦を受けた、2025年4月1日現在満41歳未満の者。
※推薦者は、応募者の所属する大学の学長、大学院の場合は大学院研究科長、学部の場合は学部長及び所属
教室の主任教授、病院の場合は病院長、研究所の場合は研究所長、他の研究機関では代表責任者とする。
但し、2024(令和6)年度に当財団から助成を受給した研究機関の責任者もしくは教室の主任教授等を除く。

応募方法

所定の申請書用紙に必要事項を記入した原本を当財団へ郵送すると共に、申請書用紙の主たる研究者について自宅住所・電話番号及び生年月日を削除した後のWordファイルを当財団のメールアドレス宛てに添付して送信ください。（Wordファイルの推薦者押印は不要）
尚、申請書用紙は 当財団のホームページからダウンロード するか、E-mailなどで当財団へ請求してください。尚、申請書の返却は致しかねます。

応募締切期日は、申請書（原本）の 2025年7月15日必着です。

（注意事項）

- ※1名の方からの複数応募及び当財団での過去3年以内の助成受給者の応募はご遠慮ください。
- ※1研究機関から複数の方の応募は可能ですが、同一研究室（教室）等からの応募は1件に限ります。

選考及び決定・助成金の交付

申請頂いた書類に基づき、当財団の選考委員会において書類選考を行います。
（選考過程において、直接ヒアリングや訪問等をさせて頂く場合がございます。）

選考委員会の選考結果を元に、当財団の理事会にて決定します。
（選考の経過等に関するお問い合わせには応じかねますので、ご了承ください。）

採否の結果は、2025年11月中旬頃、文書にて通知します。
助成金は、2025年12月末日までの贈呈を予定しています。

諸報告

助成金の受給決定者は、助成対象となった研究及び附随する活動の成果等について、以下の定められた期日までに、当財団所定の報告書（中間・完了）及び助成金の使用実績明細等をご提出頂きます。また、ご提出頂いた報告書は、ホームページ等により公開することを予定しておりますので、予めご了承ください。

- ・中間報告：助成年度の翌年12月末日まで
- ・完了報告：助成年度の翌々年12月末日まで（＝助成金の使用期限）

その他

- （１）助成事業に係る研究成果は研究者に帰属します。
- （２）助成結果は、当財団による情報公開の対象となりますので、ご了承ください。
- （３）申請書記載の個人情報 は当財団の助成事業を遂行する範囲のみで利用致します。
当財団の個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）並びに利用目的はホームページに掲載してあります。
- （４）研究成果を文書によって発表される際には、当財団の援助による旨を記載し、報文の類にあってはその別刷 1 部、また著書の類にあってはその 1 部をご寄贈願います。

- ① 交付対象者から助成金交付対象である研究を中止したい旨の申し出があったとき
- ② 助成交付対象の研究の開始前に、長期海外出張等の理由で研究を実施できなくなったとき
- ③ 助成年度の募集要項の内容に違反したとき
- ④ その他助成金交付対象者として相応しくない行為があったとき、または特別の事情があるとき

助成実績

2024年度（第5回）助成実績：13名 1,950万円

へ

(敬称略・五十音順)

No	主たる研究者 氏名	研究機関名 科・教室名	研究テーマ
1	磯崎 春菜	関西医科大学 医学部 脳神経外科学講座	脊髄髄膜瘤の予防に向けた脊椎形成機構の解明
2	岩橋 尚幸	和歌山県立医科大学 産科婦人科学教室	卵巣癌のp53凝集体機能解析を旨指した多角的研究
3	木戸 尊將	東京慈恵会医科大学 医学部 環境保健医学講座	DOHaD(Developmental Origins of Health and Disease)仮説の新たなエビデンスー必須微量元素“亜鉛”欠乏が次世代の免疫に及ぼす影響の解析/亜鉛補充効果の探索
4	久保田 淳	東京慈恵会医科大学 小児科学講座	腸内細菌叢のショットガンメタゲノム解析による熱性けいれんの病態解明
5	小堀 宅郎	大阪大谷大学 薬学部 薬物治療学講座	日本人女性に多い卵巣明細胞腺癌に対する細胞内の足場を標的とした新規免疫チェックポイント阻害療法の開発
6	菅井 駿也	新潟大学 医学部 産科婦人科学教室	周産期データベースから構築した新規機械学習モデルによる癒着胎盤ハイリスク群抽出
7	高橋 望	東京大学 医学部 産婦人科学教室	卵胞内局所環境に着目した加齢卵子における翻訳異常発生机序の解明
8	田中 雄也	慶應義塾大学 産婦人科学教室	胎児要因により妊娠中断に至った方のための包括的ゲノム診断システムの構築
9	垂水 洋輔	京都府立医科大学大学院 女性生涯医科学	プロゲステロン応答能低下に基づくPGRMC-1をターゲットとした新規子宮内膜症治療

11 蜂須賀 一寿

九州大学
医学部
婦人科学座科学教室

子宮体癌再発症例における免疫テ
ラピー阻害薬の治療効果
予測因子の検討

12 松尾 聖子

名古屋大学医学部附属病院
産婦人科学教室

周産期予後改善に向けた羊水およ
び胎盤由来細胞外小胞研究

13 水野 なつみ

国立大学法人福井大学
学術研究院医学系部門
産科婦人科学

精子の翻訳後修飾に着目した受精
メカニズムの解明と胚への影響に
ついて

2023年度（第4回）助成実績：10名 1,500万円



2022年度（第3回）助成実績：10名 1,500万円



2021年度（第2回）助成実績：10名 1,500万円



2020年度（第1回）助成実績：7名 1,050万円



お問い合わせ・申請書送付先

お問い合わせ内容・ご所属機関/団体名・お名前・お電話番号（日中連絡可能なもの）を
ご明記の上、以下に掲載しているメールアドレスまでご送付ください。

公益財団法人 今井精一記念財団 事務局

〒157-0073 東京都世田谷区砧六丁目15番2号 玄妙館

TEL 03-5494-5330（受付 火曜日～金曜日 10：00～16：00）

mail：info@imaiseiichi-foundation.or.jp

